

HAKUBAVALLEY TOURISM
令和四年度活動状況報告書
【Annual Report 2022-23】



一般社団法人 HAKUBAVALLEY TOURISM

目次

- ◆ご挨拶
- ◆今期活動実績と来期活動方針
 - 1. エリア概況
 - 2. R4年度活動実績
 - 3. R5年度活動方針
- ◆KPI(主要成長目標指数)
- ◆予決算概要

ご挨拶

- 一般社団法人HAKUBAVALLEY TOURISM(以下、HVT)は、令和5年3月に長野県の重点指定期間を満了し自走する期間を迎えました。また約3年間のコロナ渦で様々な経験を重ねました。この経験は今後の組織運営に生かしていきたいと思ひます。今後の活動は以下の3項目を重点的に行ひます。
- ①マーケティング活動
2022-23スキーシーズンの外国人とインバウンドスキー客数は、コロナ前の56%の水準に回復する予測を致しましたが、実態的にはそれを上回る70%261千人まで回復しました。来シーズン300千人を越えると推定しています。その際に効率的に集客するためのマーケティング活動に注力します。
- ②夏期のインバウンド集客
今後は冬期はインバウンドスキー客の集客と接客を安定的に行うとともに、我々の弱点である夏期のインバウンド客の集客にも注力し年間の来場客数の平準化、引いては白馬バレー地域での年間雇用機会の増大と定住促進に寄与したいと考えております。
- ③特定事業(景観・ガストロノミー・SDGs)の遂行
HVTは過去3年間7小委員会(営業調整・SNS・ガストロノミーの集客系委員会、SDGs、統一バックカントリー、サイクルトレイル、景観デザインコードの接客・開発系委員会)を運営しました。概ね3年間で目標は達成できましたが、景観・ガストロノミー・SDGsについては継続課題が残りましたので本書でご説明致します。
- また、上記と連動してシャトルバスを中心に交通機関の改善にも着手致します。今後ともご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

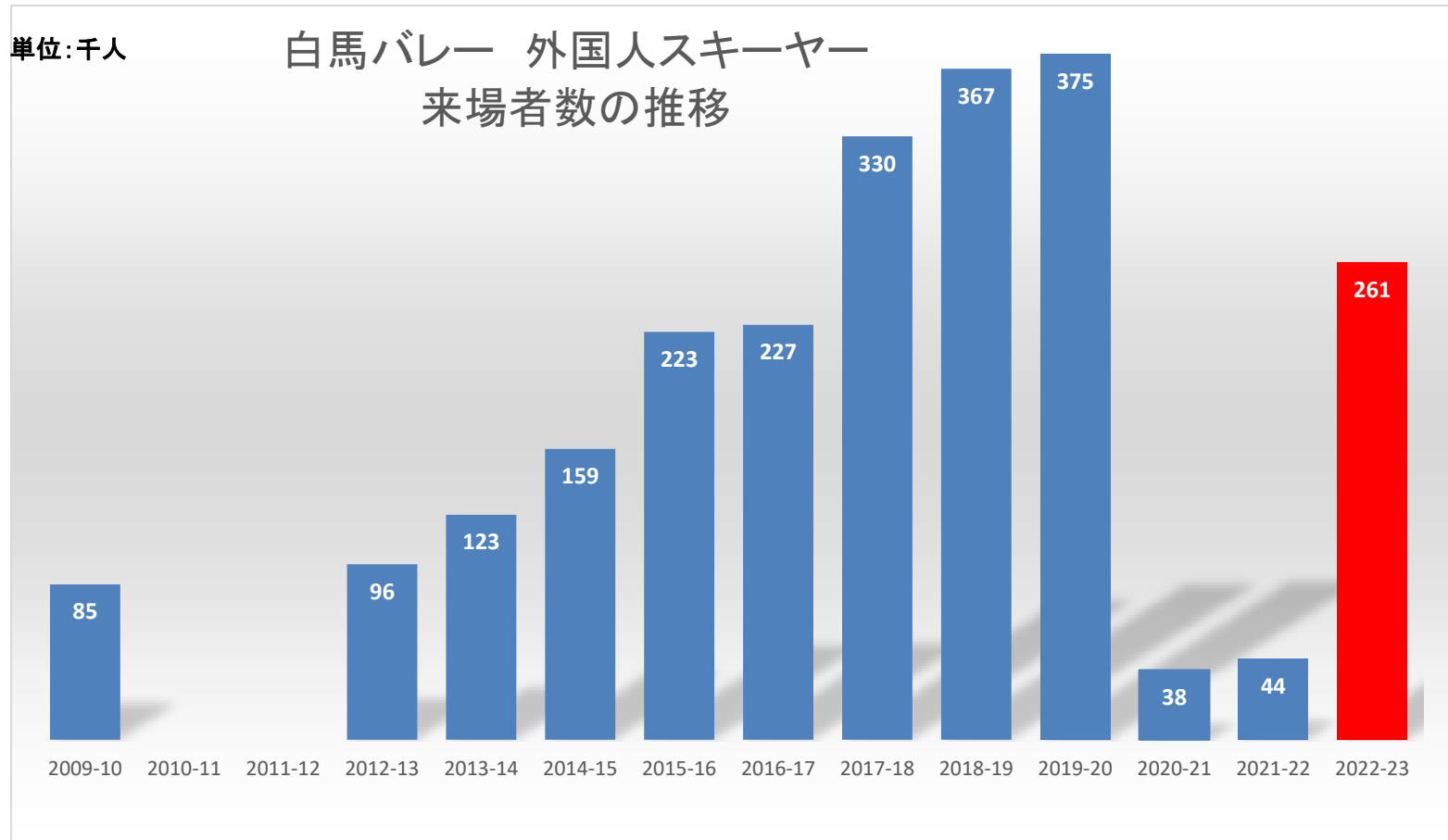
令和5年5月

一般社団法人 HAKUBAVALLEY TOURISM
代表理事 高梨 光



1. エリア概況(外国人スキーヤー来場者数)

22-23シーズン、コロナ前水準の70%(261千人)まで回復。

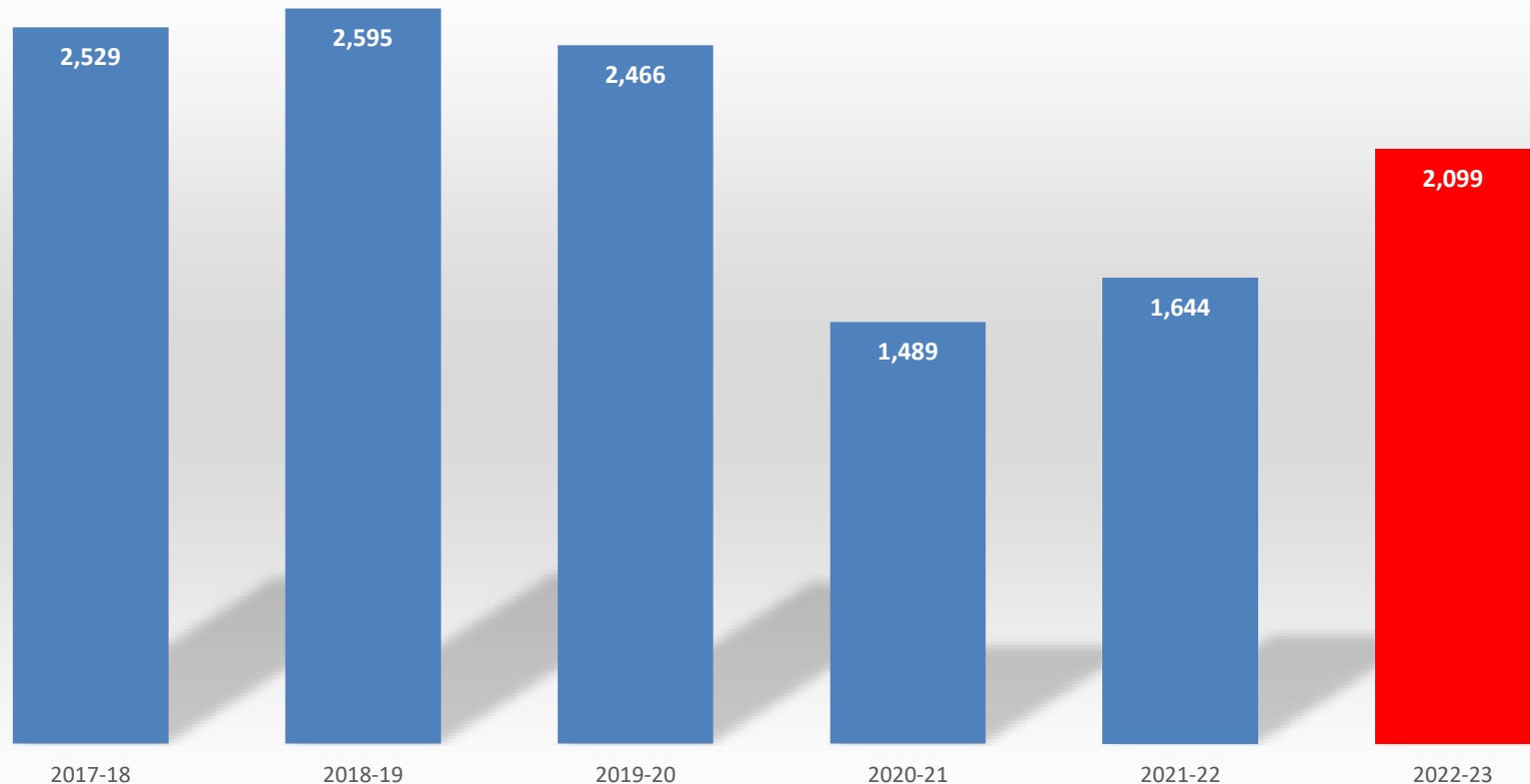


注: Hakuba Valleyは、爺ガ岳、鹿島槍、さのさか、五竜、Hakuba47、八方尾根、岩岳、杵池高原、白馬乗鞍、コルチナの10スキー場で構成
出典: HAKUBA VALLEY 索道事業者プロモーションボード(以下HVPBという) 調べ

1. エリア概況（夏期観光客数）

依然として新型コロナの影響あるが、回復基調。

3市村 夏期観光客総来場者数の推移



注: 3市村は大町市、白馬村、小谷村
出典: 3市村観光課 調べ

2. R4年度活動実績(県重点指定3年間)

概ね計画通りに進捗。一部コロナ渦で未完成の部分の継続支援をお願い致します。

	委員会	活動実績(R4年度末見込)	
(1)	S N S	公式SNS定期的情報発信・プロモーション素材作成	完了
(2)	サイクル トレイル	4トレイルコース開業・今後の方針決定	完了
(3)	バックカントリー 統一ルール	三市村統一BCアクセスルールの制定・サイン統一	完了
(4)	営業調整	観光事業者間の営業先調整・マーケ情報共有体制構築	完了
(5)	SDGs	VISIONと中長期目標の制定完了・啓発事業を開始	一部 継続
(6)	ガストロノミー	VISION策定と生産者と料理家・醸造家とのマッチング	一部 継続
(7)	景 観 デザインコード	景観デザインコード策定・八景選定完了⇒集客事業促進	一部 継続

2. R4年度活動実績(SDGs小委員会)

- ①目的:「**持続可能な山岳エコツーリズムの聖地**」の実現
- ②進捗:・**HakubaValley SDGs VISION**制定・**中長期目標**の宣言
・事業者向け**アクションリスト**の展開と**啓発活動**の開催



HAKUBAVALLEY
Vision and goals



事業者向け冊子



3市村開催160名参加

③課題:

地域(事業者・住民)への定着のため**啓発活動**を継続
サステナブル観光地としてブランディング化(GSTC認証取得等)

- ①目的：訪問のきっかけとなる食づくりとHVの食文化の発信
②進捗：・生産者（農家）と料理家・醸造家を繋ぐ場（マッチング）作り
・生産者、料理家、醸造家の生の声を毎月収集

21/4

22/11

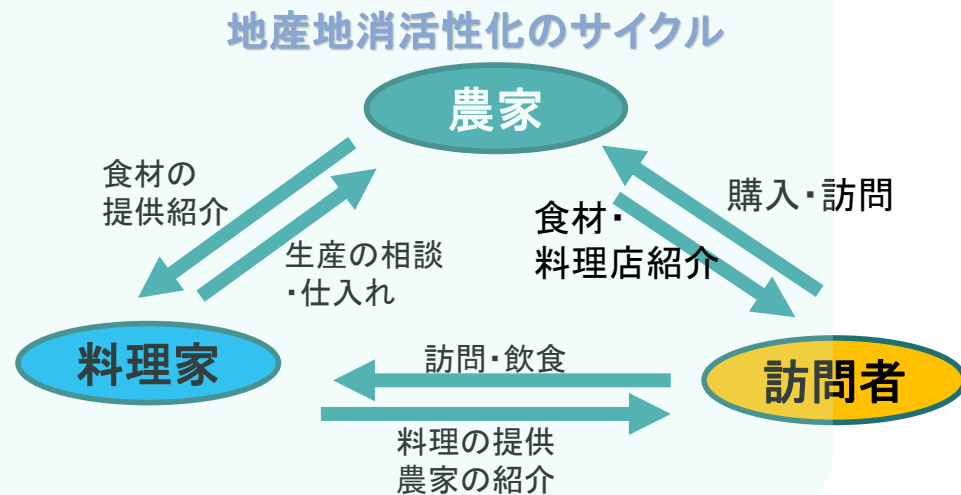
HVT設立

委員会発足

マッチング



マッチングイベント
約60名参加

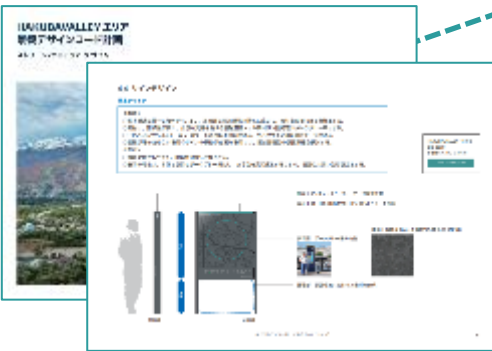
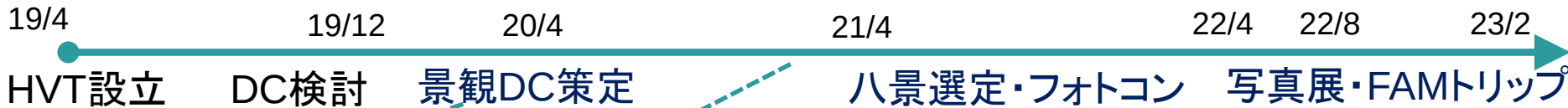


3者のマッチングの場によりサイクル活性化

- ③課題：地域内食文化サイクル活性化（キラーコンテンツ開発）
地産地消を含む圏内経済（産業連関）の強化

2. R4年度活動実績(景観デザインコード)

- ①目的:
- ・景観デザインコード策定で、サイン類統一とストリートファニチャ類に一定の基本ルール制定
 - ・景観的に調和したエリアに誘導しHV地域の価値向上
- ②進捗:
- ・景観デザインコードの制定とそれに基づくサイン類設置
 - ・白馬バレー八景の選定 フォトコンテスト・展覧会開催



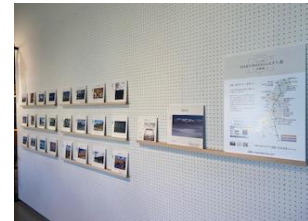
ゲレンデサイン 400点
総合案内看板 6か所



ゲレンデサイン 916点
バス停サイン 69か所
八方街路灯



ゲレンデサイン 891点
八景案内サイン 24点
八景周遊モデルルート策定



2. R4年度活動実績(景観デザインコード)

③課題:

- ・八景モデルコース策定しツアー造成から収益事業化へ
- ・『信州』と連動した広域周遊ルート展開(インバウンド対応)
- ・サイン類等ハード受入環境整備普及(デザインコード完成)

FAMトリップの開催(R4年10月 観光庁補助金活用)

在日海外旅行代理店4社と発信力高いKOL4名で
八景のモデルルートを周遊(2泊3日)



- ・グリーン期の認知度(発信力の弱さ)
- ・2次交通の不便さ
- ・飲食に対しての物足りなさ等 課題点を指摘。

継続的に、FAMトリップ/海外出展による認知度向上、インバウンド誘致を推進。

→長野市・松本市との連携も既に着手済。補助金活用も視野に入れる。

3. R5年度活動方針

三市村と役割を分担し、以下の業務をHVTが代表して執行。

(1) マーケティング活動

HVエリア営業活動の基礎となる市場調査・戦略策定業務

① 市場予測業務 (国内外観光需要のコロナからの回復予測等)

(2) マーケティング関連業務

HVエリアで三市村が必要な作業をHVTが代表して業務執行

② 夏期アンケート調査 : 2年実施を更に継続 (冬期はHVPBで実施)

③ 戦略策定業務 (例: 夏期インバウンド営業エリア共同方針: 対象国時期)

④ 夏期インバウンド集客 (主にアジア5か国: 中・台・港・星・泰国への営業)

⑤ 受入環境の整備 (二次交通の充実)

(3) 自走のための特定事業遂行

重点支援3年で未完成又は市村を跨ぎ統括した方が良い事業を集中執行

⑥ SDGs : 事業者向け啓発活動を継続

⑦ ガストロノミー : 域内食文化サイクル活性化・キラーコンテンツ・産業連関

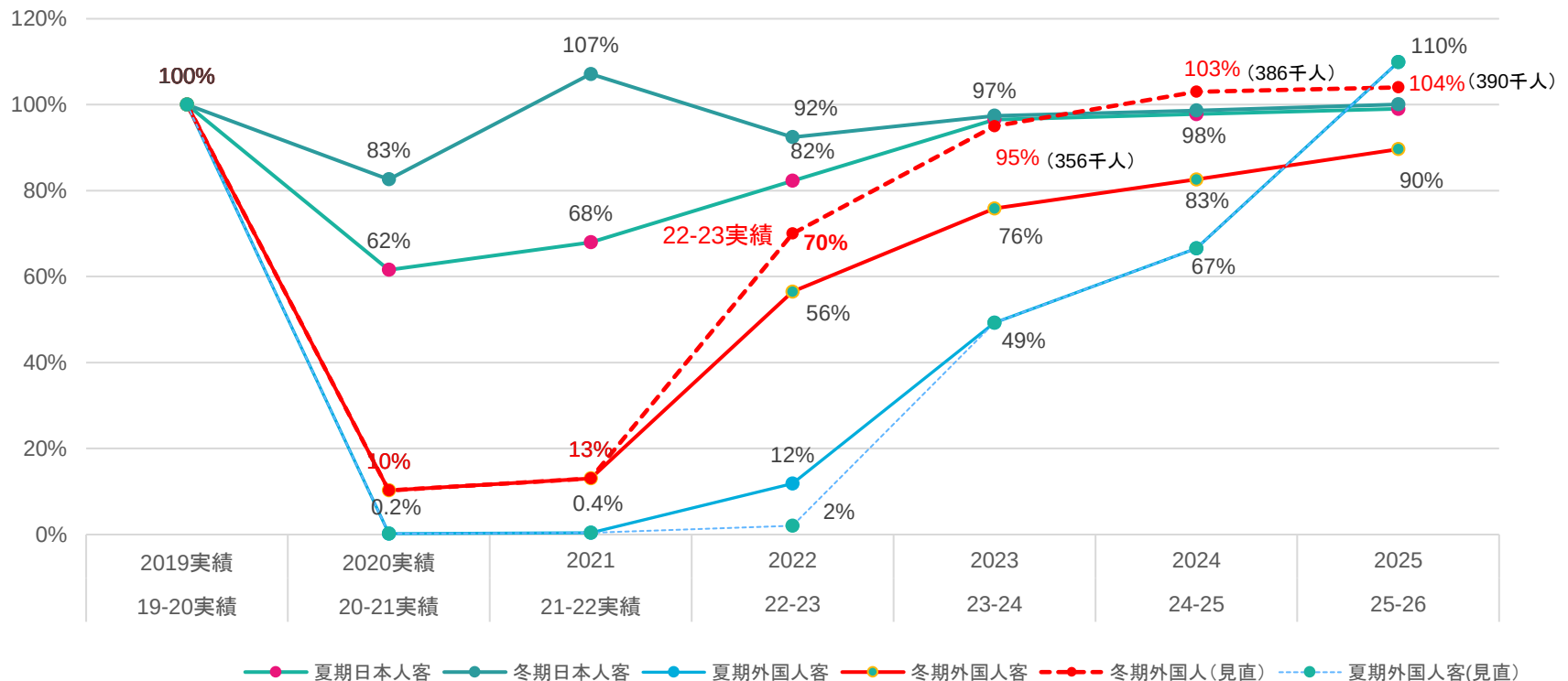
⑧ 景観デザイン : 八景ツアー事業構築・『信州』観光と連動 (自走収益事業)
デザインコードに基づく受入環境整備の普及

3. R5年度活動方針(1)マーケティング活動

①市場予測業務

コロナ後の来訪者の回復予測を、業界データやHVで集約したデータから独自に算出、公表し、エリア内事業者の事業計画の検討材料など幅広くご活用いただいた。

Hakuba Valley国内外客数回復スピード予測(ベースシナリオ)



1年目 冬期アンケート調査 (索道継続事業)

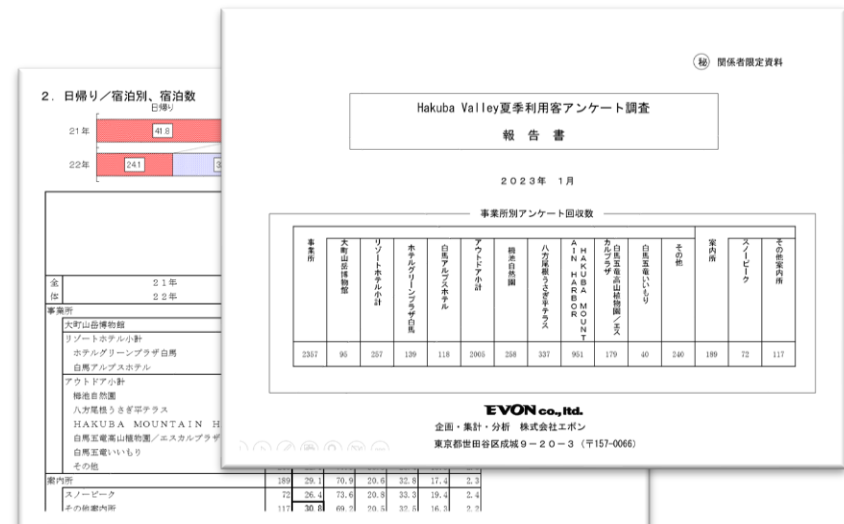
+

2年目 夏期アンケート調査

夏冬インバウンド集客 (分析+戦略立案)

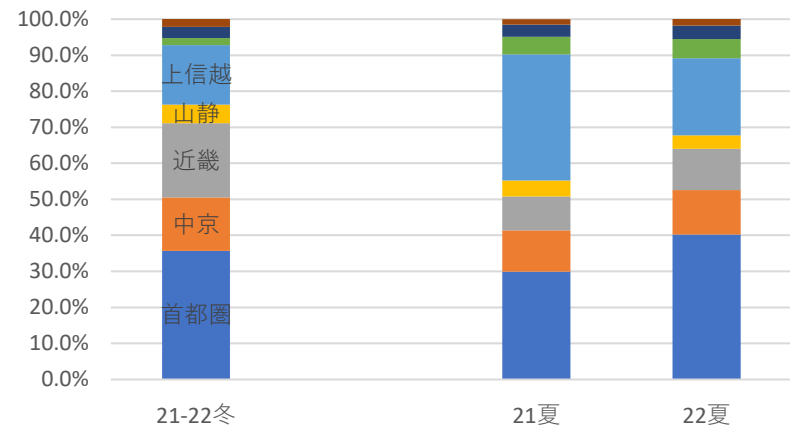
3年目 夏冬集客戦略の融合 (国内集客から開始)

4年目 夏インバウンド集客活動 をHV統合して開始



蓄積・分析(例)

・夏冬の来訪者出身地域特性分析



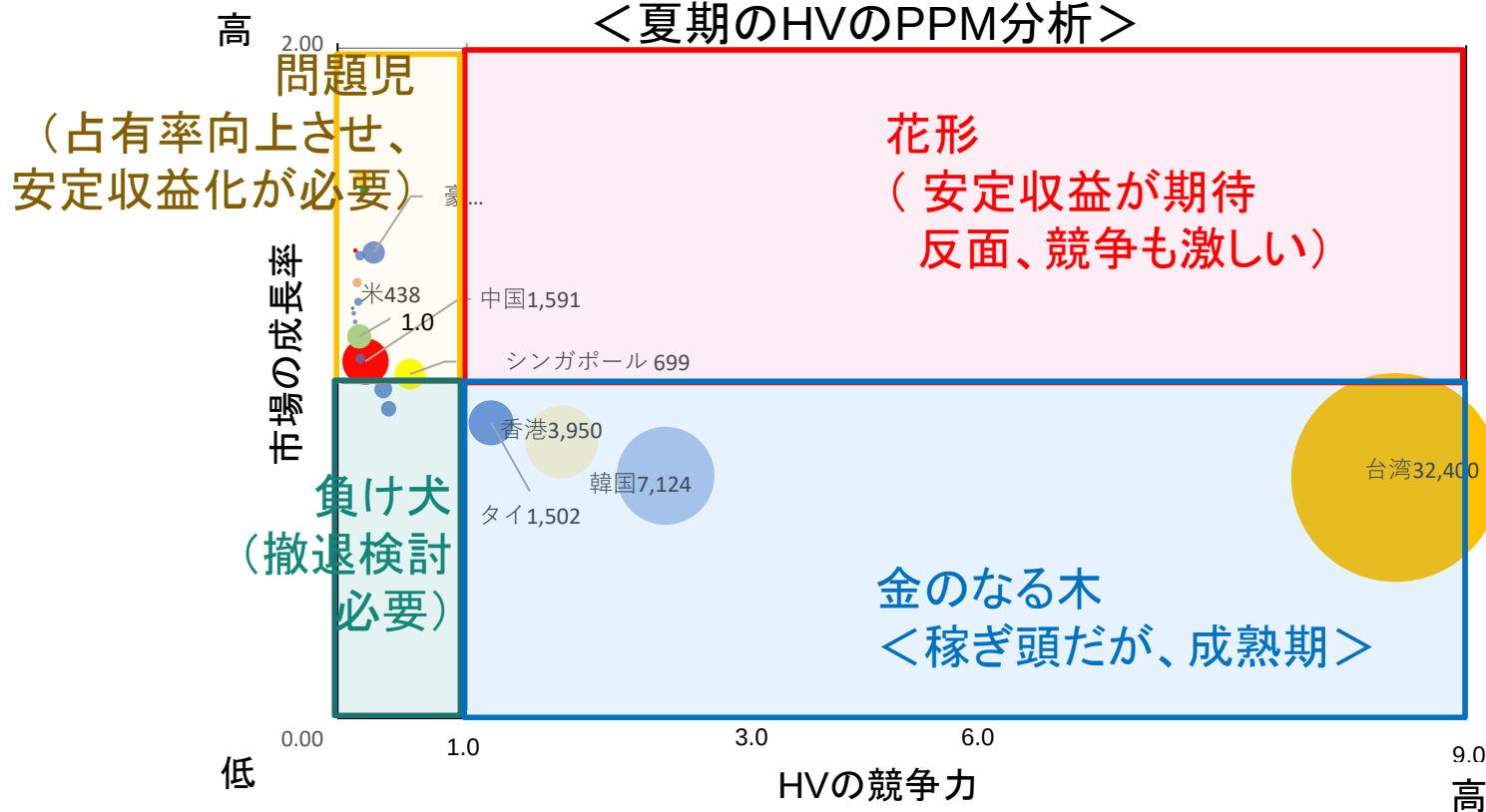
夏の首都圏からの来訪者増加傾向(岩岳効果)

3. R5年度活動方針(2)マーケティング関連業務の執行

③戦略立案

HVエリア集客の、PPM(Product Portfolio Management)分析を実施。
今後の注力国・地域を分析し、今後のプロモーション戦略作りを実施。

＜夏期のHVのPPM分析＞



現状 台湾が、稼ぎ頭となっているが、今後の「花形」「金なる木」が必要

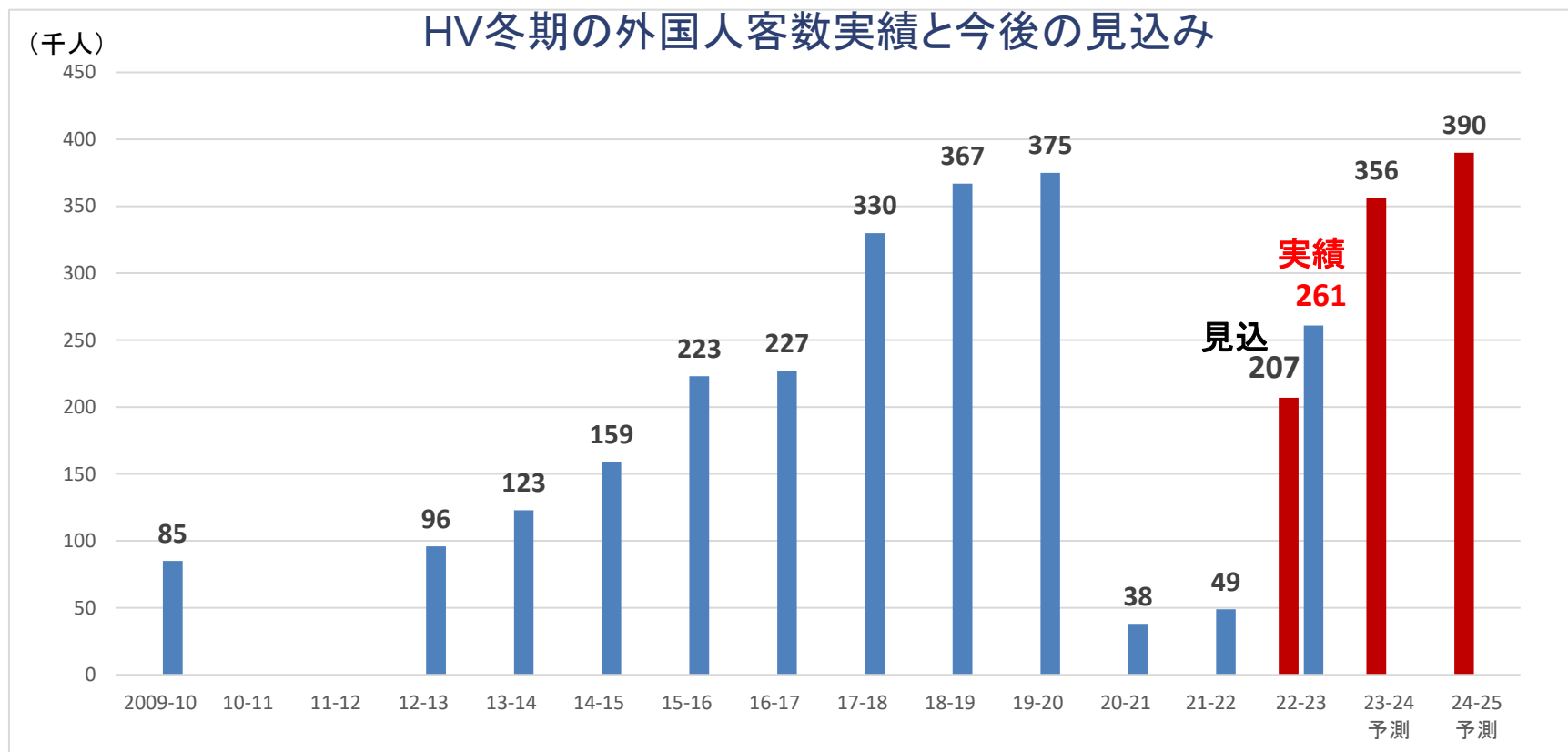
→ 金なる木: 台湾は堅持、香港・韓国・タイを強化

問題児: シンガポール・中国を先行し、豪・欧米は順次

3. R5年度活動方針(2)マーケティング関連業務の執行

④インバウンド集客(冬期実績と夏期への展開)

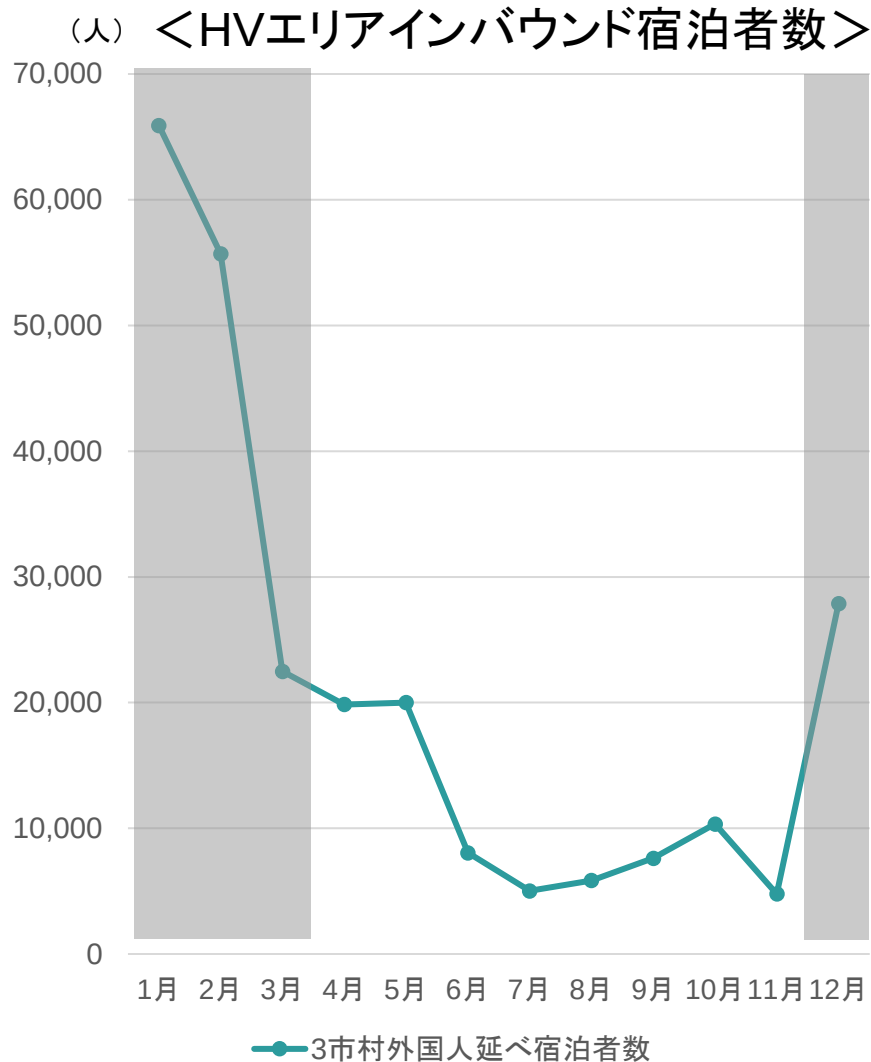
コロナ禍は継続的海外Webプロモーションを、国境開放後も速攻で現地プロモーションを実施。
22-23は**コロナ前比56%(見込)を上回る、70%(26.1万人)の外国人来訪実績**。
日本国全体の回復59%(JNTO推計値)に対しても順調な回復を獲得。



冬の知見を活かし夏インバウンド向けプロモーションをHVTが実施
⇒観光収入増大・通年集客数平準化(雇用機会・定住促進)に寄与

<参考>

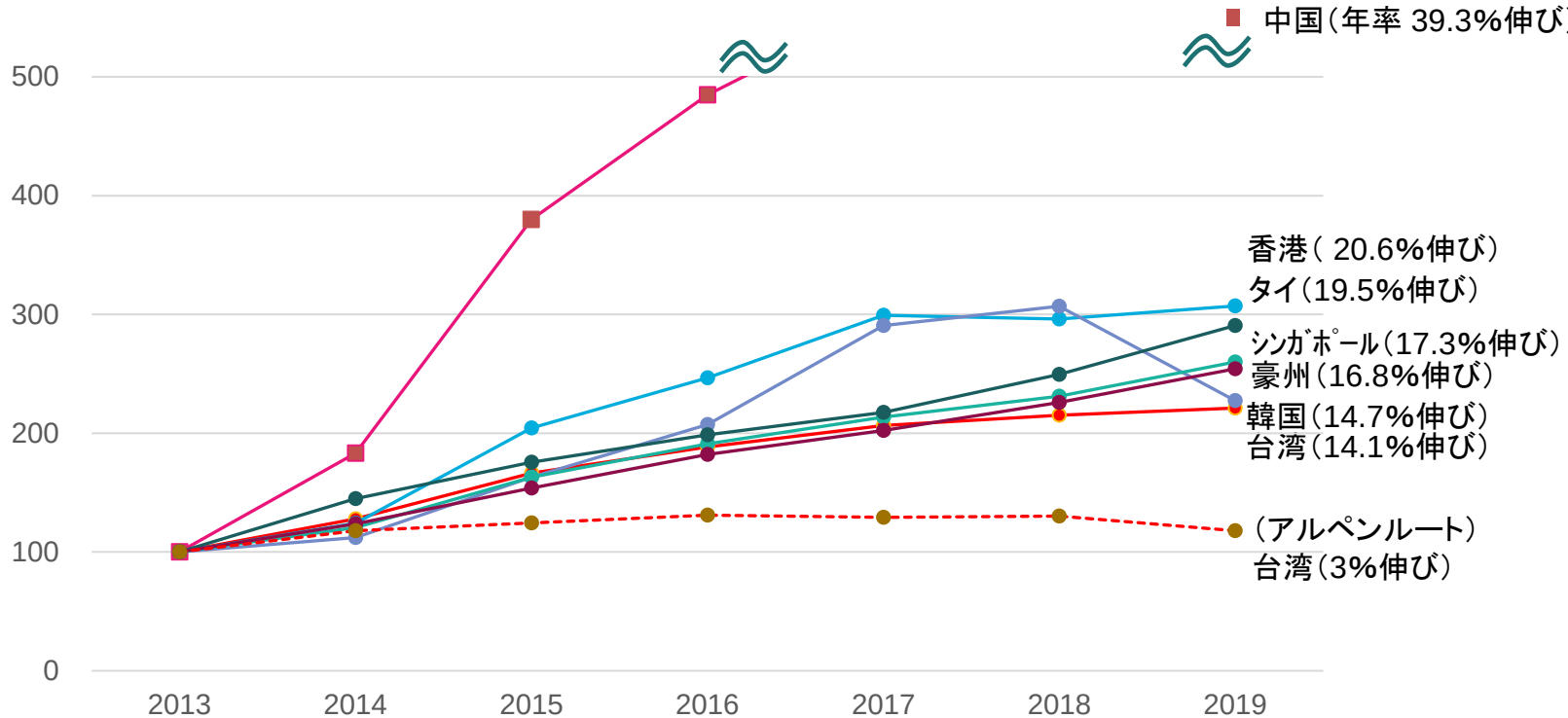
3市村 外国人延べ宿泊者数月別推移(2019)



- 全体的に宿泊者数はスノーシーズン(12月～3月)に集中し、白馬村での宿泊者が多い。
- 4月、5月、10月はその次に多くて、大町市での宿泊者がメインになる。
- 6月～9月、11月の宿泊者数が少なく、平均はスノーシーズンの14%を占めている。

<参考>

訪日外国人客数の伸び(各国 対13年比)とアルペンルート台湾人の伸び



P11の金となる木(成熟期)の韓国・台湾は相対的に伸び率が鈍化。
アルペンルートの集客は、訪日台湾人の伸び率よりさらに鈍化傾向。
(打ち手の変更または、ターゲットの変更等も必要と考えられる)

→台湾だけでなく、シンガポール・中国等アジア諸国の集客強化を行わないと成長は出来ない。

3. R5年度活動方針(2)マーケティング関連業務の執行

④インバウンド集客(夏期への展開)

HV八景を中心としたグリーン期のプロモーションを各観光団体や索道事業者と分担・協業。

(現地旅行博出展とWeb媒体のハイブリッドプロモーション)

<HVT夏(八景)プロモーション出展計画>

考え方: 国毎の休暇時期と旅行手配のリードタイムの特性を踏まえ、出展先と時期を決定

HVTとして出展(夏) 白馬村観光局出展に同行 HVPBが出展(冬夏) 紙・動画等のみ出展 検討中

国・地域	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
中国			深圳SITE 16~18 北京BITE	22~24 昆明CITM		上海ITB 15~17 広州CITIE 上海独自セ ミナイベント						
香港			15~18 香港ITE	19~25 Book Fair				Outdoor & Sports Expo				
台湾		26~29 台北TTE	2~5 高雄KTF 13~14 北ア山麓				12~15 outdoor show	3~6 ITF 台北国 際旅行博				
タイ						1~3 NIPPON HAKU	6~8 Visit Japan FIT Fair			Visit Japan FIT Fair		
シンガ						未定 Japan Travel Fair	10/13~15 The Japan Rail Fair				Japan Travel Fair	

3. R5年度活動方針(2)マーケティング関連業務の執行

⑤受入環境の整備(二次交通の充実)

国際山岳リゾートとしての更なる発展に向け、課題の一つである2次交通の改善が必要。



HVT社員に地域交通事業者へ参画頂き、
まずは、HV号シャトルバスを改善し、
可能であれば、ナイトシャトルの検討も着手。
シャトルバスから2次交通の改善を図る。

※R5年度 新規入社社員

- ・アルピコ交通(株)
- ・(有)白馬交通

(令和5年5月25日
定款第5条2に基づき、代表理事の承認を得、入社)

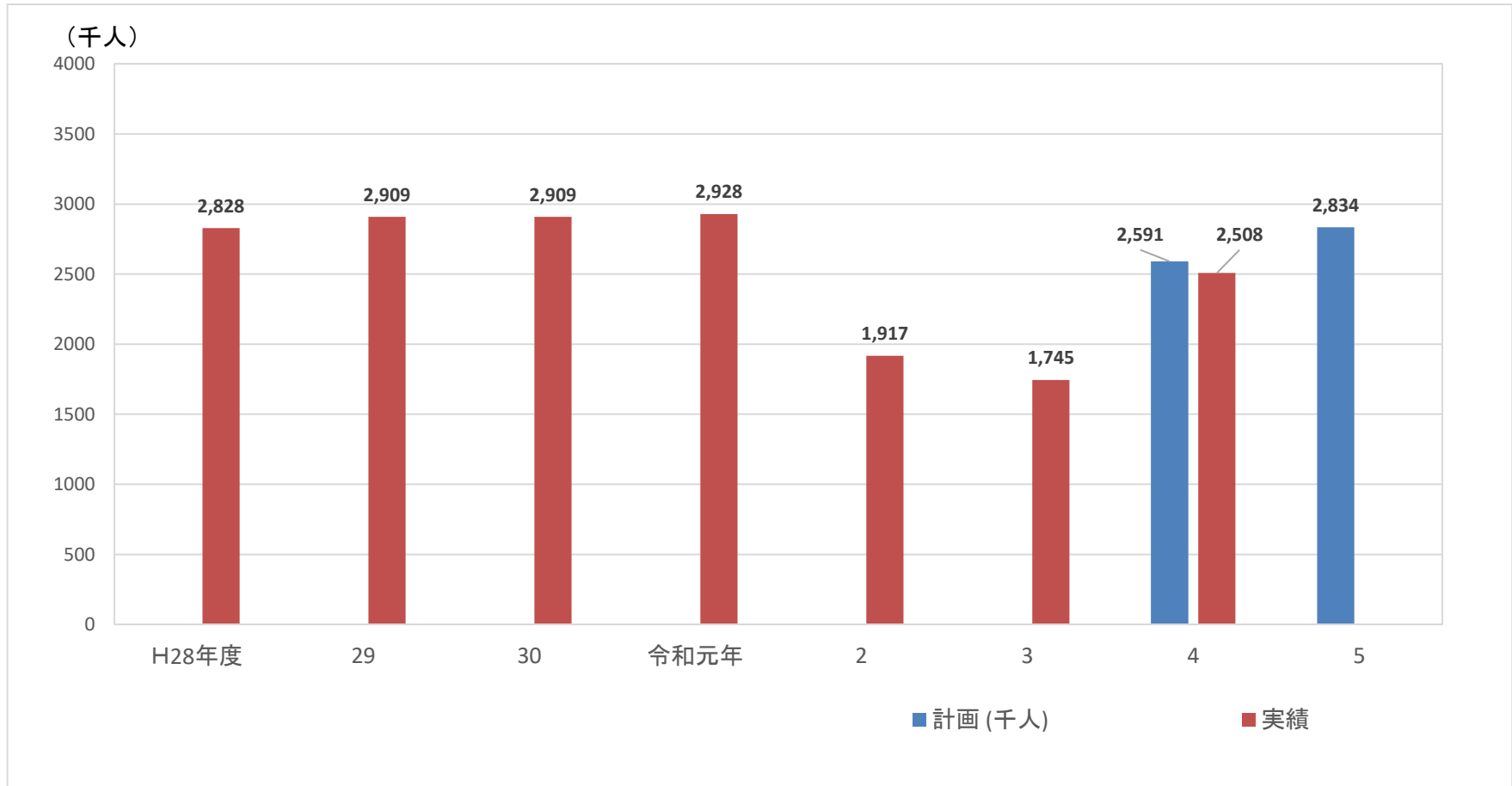
KPI(主要成長目標指数)

昨年コロナ感染拡大に伴い、KPI目標の見直しを行いました。
今年度は、見直した各KPIに対しての進捗を確認いたしました。
影響は依然ありますが、計画に対し概ね順調に推移中です。



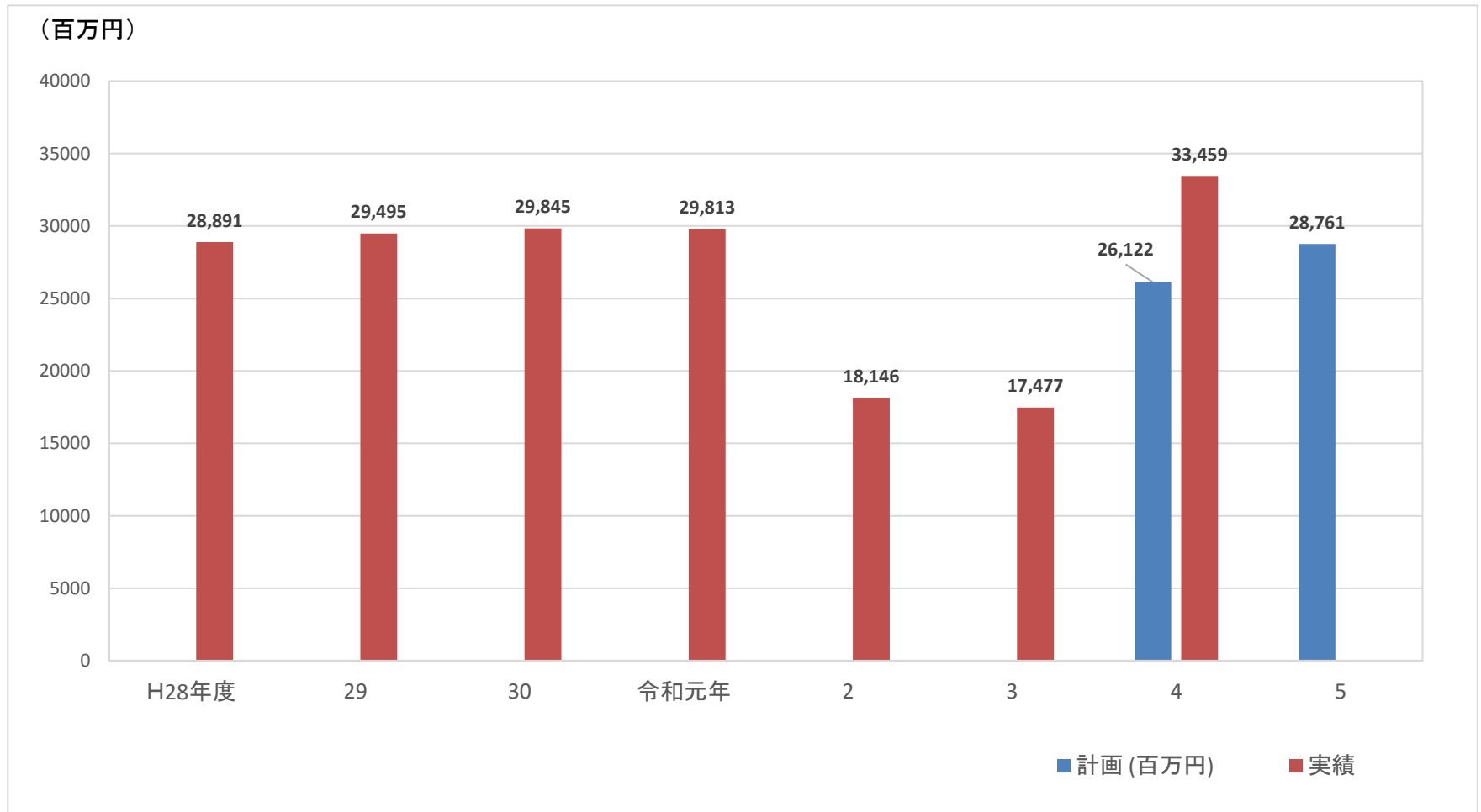
KPI(成長目標指数) ① 観光客延べ宿泊者数

ポストコロナ観光回復初期だが、計画に対してほぼ達成。



KPI(成長目標指数) ② 旅行消費額

観光回復初期、計画を上振れ。コロナ規制の反動等が推測される



注: 22/1月までに高リスク集団のワクチン接種計画が完了することを前提にKPMGの予測値から推測

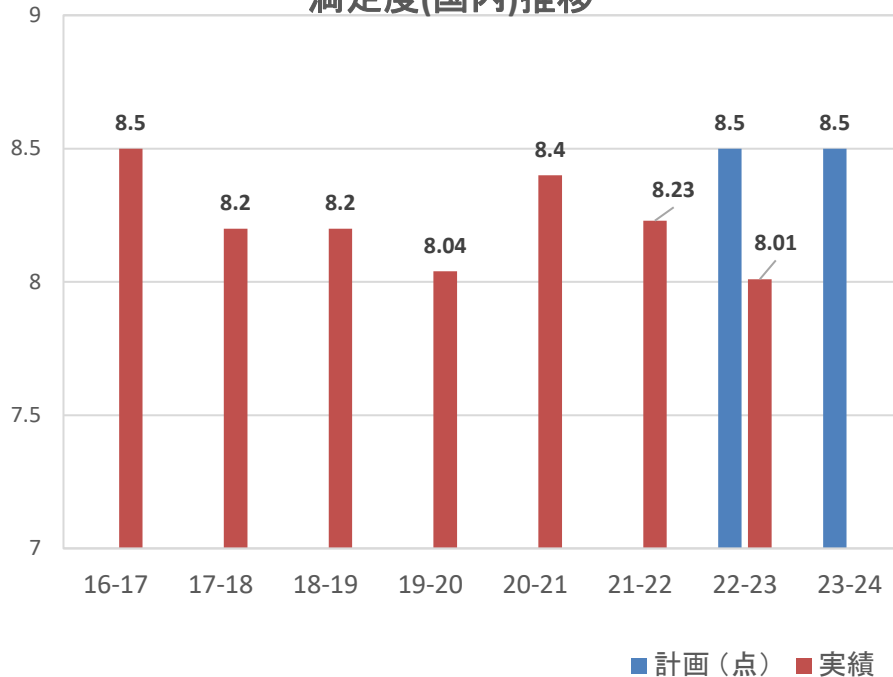
出典: 3市村調べ

KPI(成長目標指数)

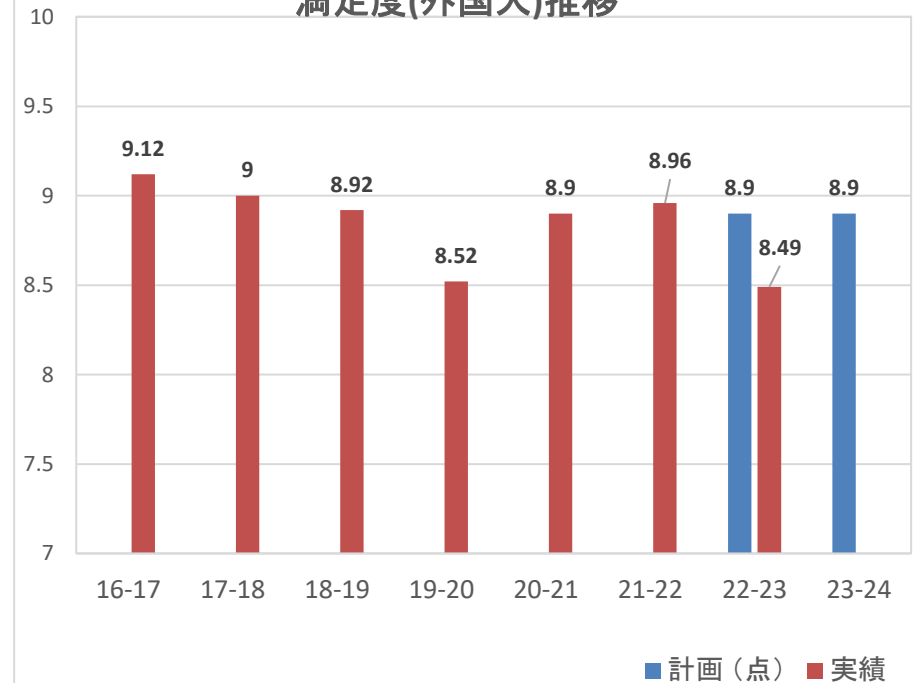
③ 冬期(スキー場)来訪者満足度

満足点低下の詳細要因分析し対応が必要。

満足度(国内)推移



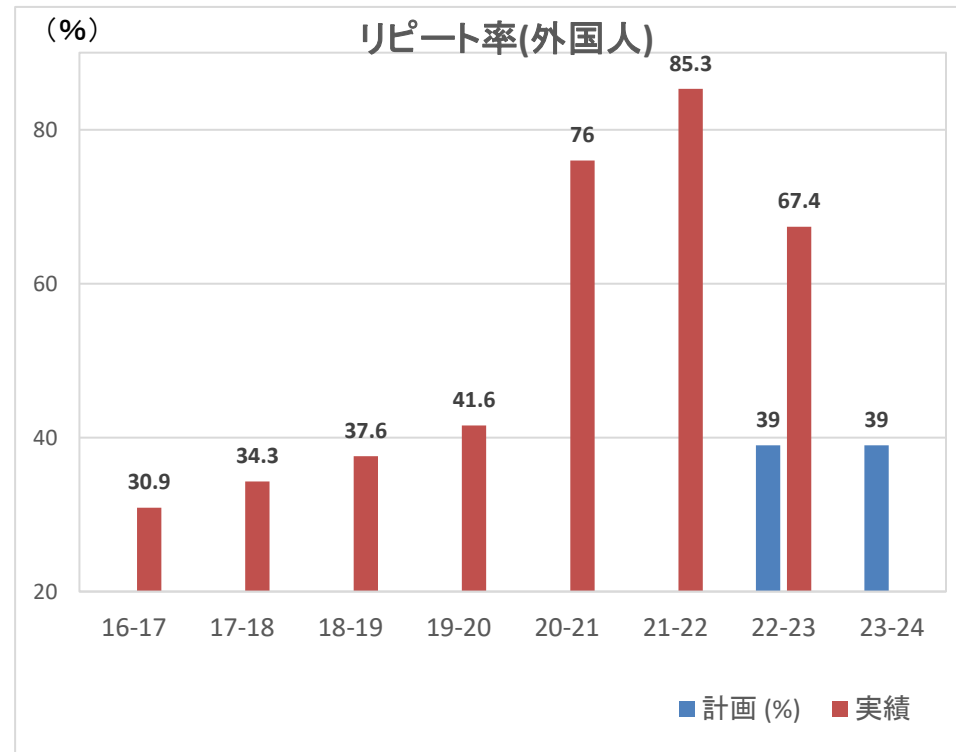
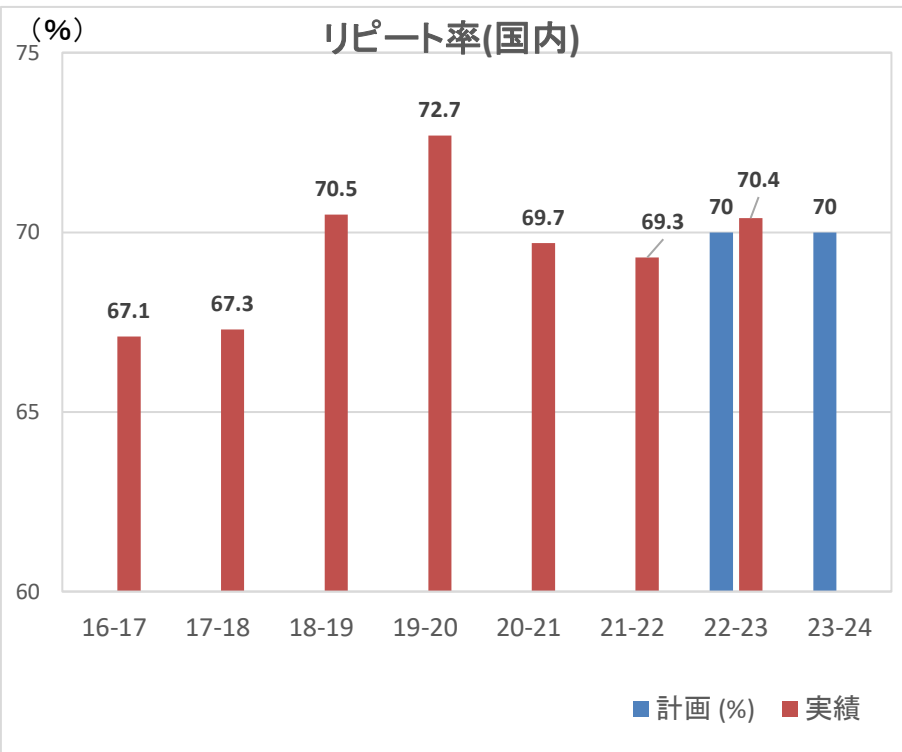
満足度(外国人)推移



KPI(成長目標指数)

④ 冬期(スキー場)リピート率

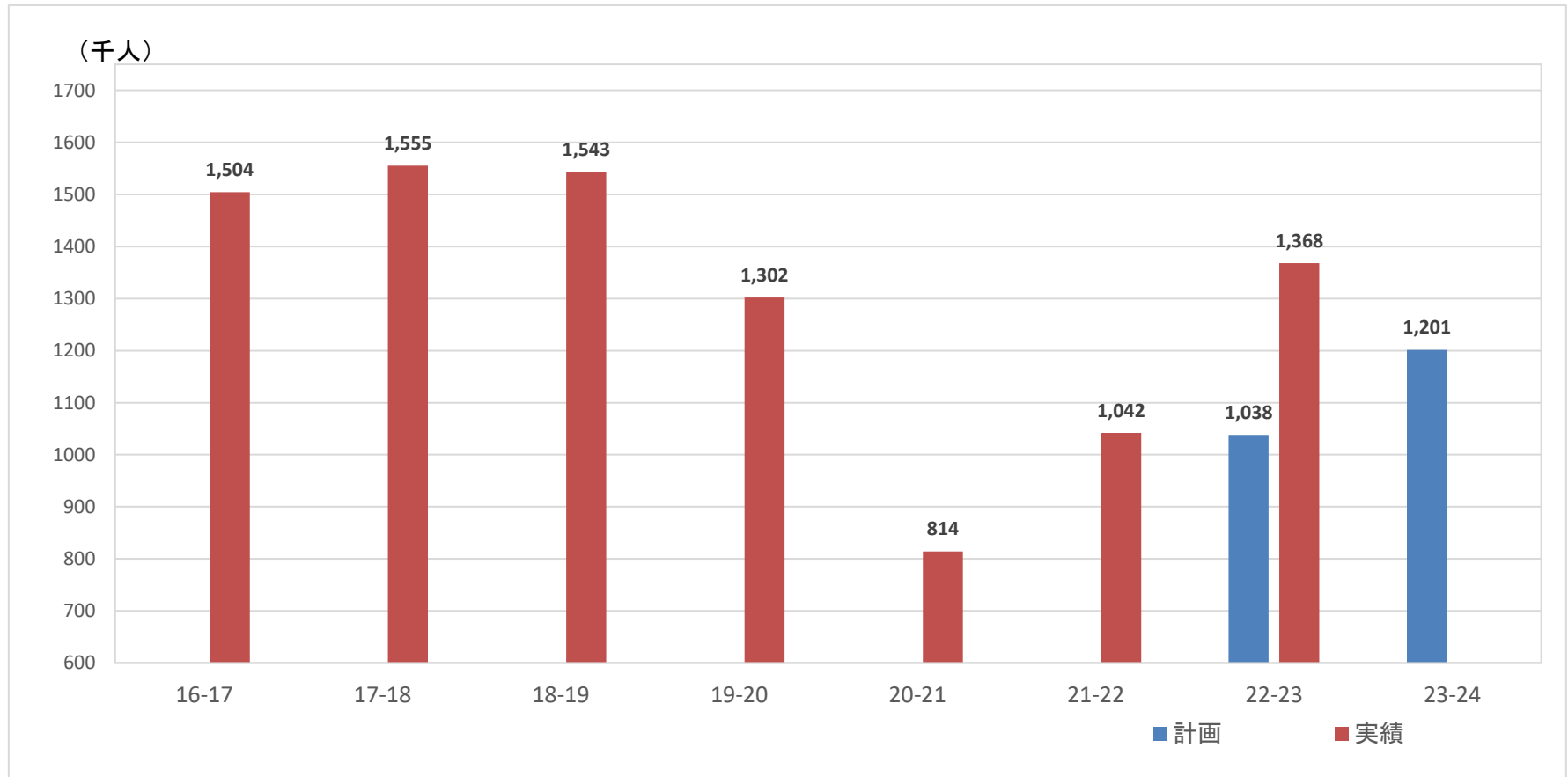
国内は70%確保、外国人のリピート率は目標より大幅に増加。



KPI(成長目標指数)

⑤ 冬期スキー場総来場者数

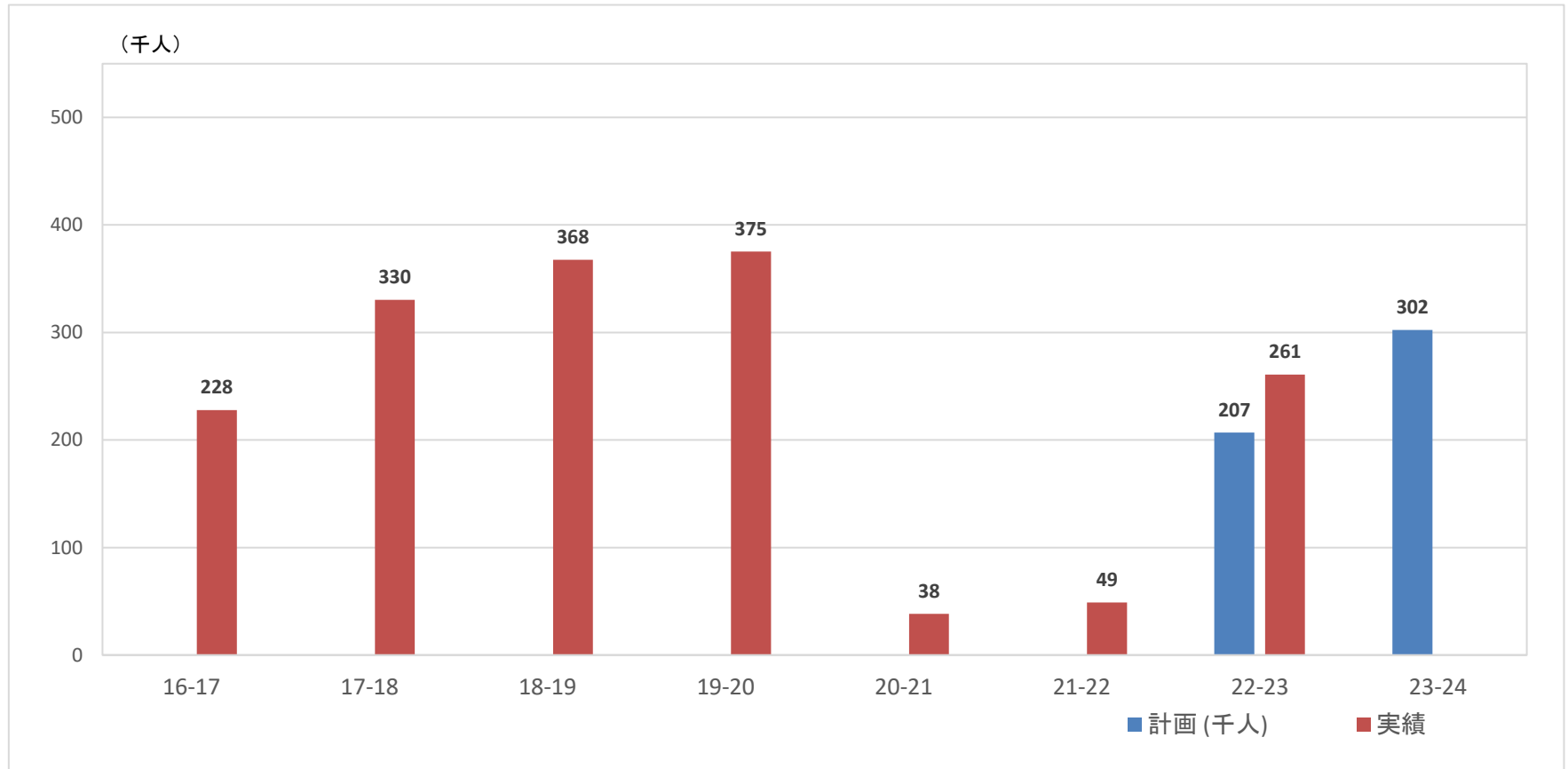
行動規制の緩和等より、コロナ直前の水準まで回復



KPI(成長目標指数)

⑥ ⑤の内外国人来場者数

先手の海外プロモーションと入国制限緩和とともに、計画達成。

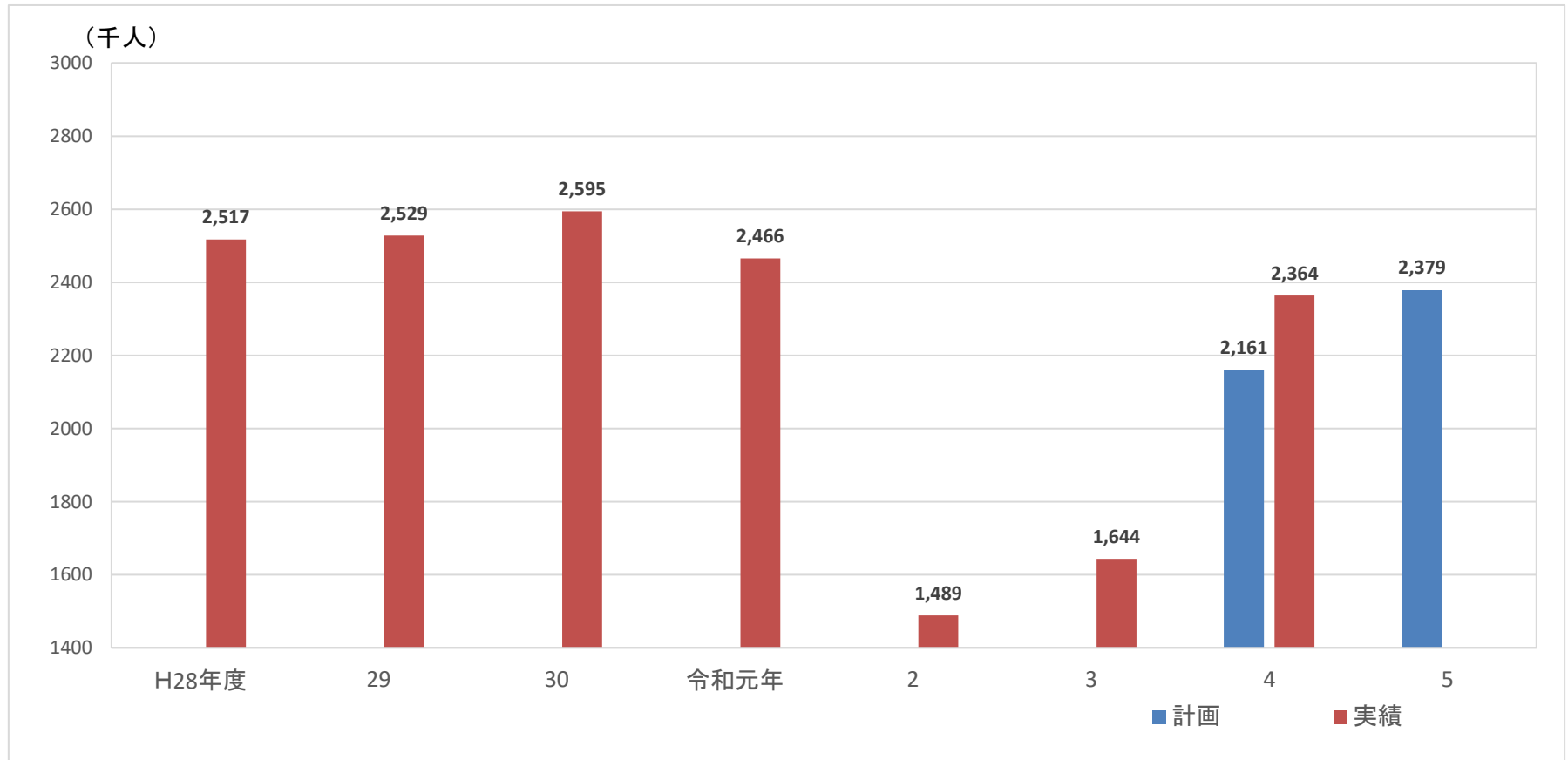


注: Hakuba Valleyは、爺が岳、鹿島槍、さのさか、五竜、Hakuba47、八方尾根、岩岳、杣池高原、白馬乗鞍、コルチナの10スキー場で構成
出展: HVPB調べ

KPI(成長目標指数)

⑦ 夏期観光客総来場者数

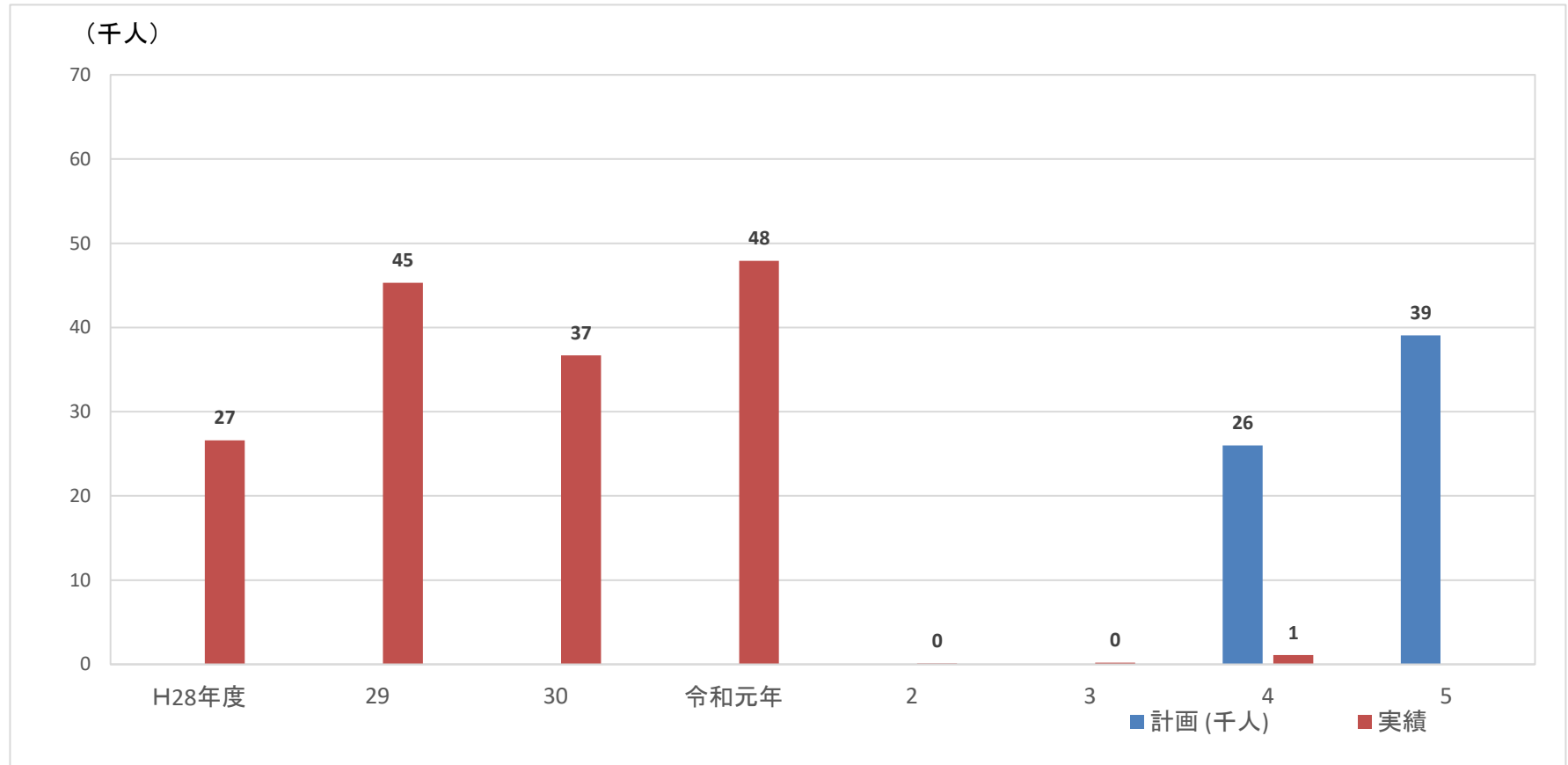
行動制限の緩和により、計画達成



KPI(成長目標指数)

⑧ ⑦の内外国人宿泊者数

22年夏期入国制限によりインバウンド宿泊者ほぼゼロ。
23年の夏期回復状況に注目する。



予決算概要①決算一 貸借対照表

(令和5年3月31日時点)

一般社団法人HAKUBA VALLEY TOURISM

(単位：円)

科 目	金	額
I 資産の部		
1 流動資産		
普通預金		
八十二銀行白馬支店(本口座)	7,484,620	7,484,620
前払費用		
インターリンクプロバイダー4月分	1,320	
八方尾根開発4月分家賃	110,000	111,320
未収入金		
国 令和3年度補正訪日外国人旅行者周遊促進事業補助金	1,987,040	
大町市 負担金(SDGs事業)	414,640	2,401,680
仮払金 経費過払い分	160	
流動資産合計		9,997,780
2 固定資産	0	0
資産合計		9,997,780
II 負債の部		
1 流動負債		
未払金		
従業員3月分給料	2,294,207	
3月分社会保険料法人負担分	349,462	
NTT東日本3月分電話代	37,018	
JA大北北部工機燃料センター3月分ガス	28,380	
(株)タトマシサービス2月・3月分コピー機リ	27,769	
あづみ病院健康診断料(2名分)	21,181	
(株)クルーズ顧問契約料他	21,098	
山田商会(汲み取り料)	13,806	
従業員経費立替分	12,107	
KDDI 携帯電話代	9,776	
八十二銀行 3月分IB手数料	2,200	
白馬村 水道料	1,510	2,818,514
未払法人税等 法人県民税	21,000	
流動負債合計		2,839,514
2 固定負債	0	0
固定負債合計		0
負債合計		2,839,514
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産	6,894,573	
当期正味財産増加額	263,693	7,158,266
正味財産合計		7,158,266
負債及び正味財産合計		9,997,780

予決算概要②決算一 損益計算書(収益の部)

(令和4年4月1日～令和5年3月31日時点)

科 目	内 訳	令和4年度決算額	令和4年度予算額	差 額	摘 要
I <収益の部>					
1. 会費収入	1. 1号会員	21,000,000	21,000,000	0	大町市・白馬村・小谷村
	2. 2号会員	24,000,000	24,000,000	0	大北地区索道事業者協議会
	3. 3号会員	900,000	900,000	0	大町市観光協会・白馬村観光局・小谷村観光連盟
	4. 4号会員	0	300,000	-300,000	新社員会費
	小計	45,900,000	46,200,000	-300,000	
2. 負担金収入	1. 大町市	613,448	1,700,000	-1,086,552	SDGs事業¥414,640 ゲレンデ安全標識追加整備事業¥198,808
	2. 白馬村	613,448	700,000	-86,552	SDGs事業¥414,640 ゲレンデ安全標識追加整備事業¥198,808
	3. 小谷村	613,448	1,700,000	-1,086,552	SDGs事業¥414,640 ゲレンデ安全標識追加整備事業¥198,809
	4. 索道事業者協議会	99,456	100,000	-544	ゲレンデ安全標識追加整備事業(13社)
	小計	1,939,800	4,200,000	-2,260,200	
3. 補助金収入	1. 国	7,987,040	0	7,987,040	観光庁看板商品創出事業(看板商品八景)・スノーリゾート事業
	2. 長野県	4,386,000	6,775,000	-2,389,000	令和4年度観光地域づくり重点支援事業
	小計	12,373,040	6,775,000	5,598,040	
収益合計		60,212,840	57,175,000	3,037,840	

予決算概要②決算一 損益計算書(支出の部)

(令和4年4月1日～令和5年3月31日時点)

2. 管理費	給与手当	26,142,881			職員6名給与・時間外手当等
	出向負担金	4,961,994	34,000,000	-2,618,825	㈱五竜より出向1名
	通勤手当(旅費交通費)	276,300			職員6名通勤手当
	法定福利費	4,003,745	5,300,000	-1,296,255	職員6名社会保険 労働保険(R3確定・R4概算)
	福利厚生費	1,316,321	1,650,000	-333,679	職員6名名中退共済金1,276,000円 健診費4名40,321円
	採用教育費	673,200	0	673,200	やまごころ採用費・SPIテスト2名
	外注費	0	350,000	-350,000	
	旅費交通費	325,110	30,000	295,110	視察出張(東京EXP0・奈良ガストロ・ニセコ) 移動交通費等
	会議費	3,576	20,000	-16,424	総会時お茶代
	交際費	15,600	0	15,600	外部打合せ
	地代家賃	1,023,000			八方尾根開発㈱R4.6月分～R5.4月分(令和4年度予算:事務所関連費)
	水道光熱費	485,116	3,000,000	-1,443,797	電気・ガス・水道R4.3月～R5.3月(令和4年度予算:事務所関連費)
	衛生費	48,087			山田商会汲み取り4回(令和4年度予算:事務所関連費)
	通信費	536,021	40,000	496,021	NTT電話365,090円(令和4年度予算:事務所関連費)・KDDI携帯電話・切手・宅急便等170,931円
	支払手数料	266,650	60,000	206,650	振込手数料・八十二銀行IB・篠原先生謝礼・PC設定等
	消耗品費	163,333	50,000	113,333	事務所内消耗品・備品・事務用品等
	リース料	574,874	350,000	224,874	事務所複合機リース278,800円 PCリース・Zoom更新等296,074円
	新聞図書費	150	0	150	信濃毎日新聞購入
	広告宣伝費	10,626	0	10,626	篠原先生講演会広告(自然環境と景観デザインコード)
	租税公課	55,500	0	55,500	登記、契約書等収入印紙等
	管理諸費	185,760	0	185,760	ネットセキュリティ月額費用・謄本取得
	支払報酬料	727,947	600,000	127,947	成道会計顧問料330,000円 成道労働手続41,800円 ㈱クルーズ給与業務委託325,347円 太田司法事務所30,800円
管理費合計		41,795,791	45,450,000	-3,654,209	
費用合計		59,907,328	59,515,840	391,488	
---		305,512	-2,340,840	2,646,352	
---		181	165	16	受取利息(8月・2月)
---		305,693	-2,340,675	2,646,368	
---		305,693	-2,340,675	2,646,368	
---		42,000	30,000	12,000	前期法人税(今期支払) 今期法人税(未払計上)
---		263,693	-2,370,675	2,634,368	

予決算概要③予算一 損益計算書(収益の部)

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

科 目	内 訳	令和5年度予算額	令和4年度決算額	差 額	摘 要
I <収益の部>					
1 会費収入	1. 1号会員	21,000,000	21,000,000	0	大町市・白馬村・小谷村
	2. 2号会員	29,000,000	24,000,000	5,000,000	大北地区索道事業者協議会
	3. 3号会員	900,000	900,000	0	大町市観光協会・白馬村観光局・小谷村観光連盟
	4. 4号会員	600,000	0	600,000	新社員会費 ※アルピコ交通、白馬交通
	小計	51,500,000	45,900,000	5,600,000	
2 負担金収入	1. 大町市	0	613,448	-613,448	6月補正予算申請中
	2. 白馬村	1,694,000	613,448	1,080,552	6月補正予算申請中
	3. 小谷村	519,000	613,448	-94,448	小谷村観光連盟と調整中
	4. 索道事業者協議会	0	99,456	-99,456	
	小計	2,213,000	1,939,800	273,200	
3 補助金収入	1. 国	0	7,987,040	-7,987,040	観光庁「インバウンドコンテンツ造成事業」補助金申
	2. 長野県	3,584,000	4,386,000	-802,000	元気づくり支援金内定額
	小計	3,584,000	12,373,040	-8,789,040	
4 事業収入		0	0	0	HVリフト発券業務受託予定（7月契約締結予定）
	小計	0	0	0	
収益合計		57,297,000	60,212,840	-2,915,840	

予決算概要③予算一 損益計算書(支出の部)

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

2. 管理費	給与手当	33,000,000	26,142,881	6,857,119	事務局員1名増員 事務局員6名+1名 給与・時間外手当等
	出向負担金	2,000,000	4,961,994	-2,961,994	R5年度 アルピコより出向社員
	通勤手当	450,000	276,300	173,700	事務局員1名増員 事務局員6名+1名
	法定福利費	5,700,000	4,003,745	1,696,255	事務局員1名増員 事務局員6名+1名 社会保険 労働保険(R4確定・R5概算)
	福利厚生費	2,500,000	1,316,321	1,183,679	事務局員1名増員事務局員6名+1名 中退共掛金(1名は11か月) 健康診断事務局員6名+1名
	採用教育費	0	673,200	-673,200	
	外注費	0	0	0	
	旅費交通費	750,000	325,110	424,890	コロナ終息による現地視察・先進地域取組視察・打合せ等移動交通費・出張時日当等
	会議費	10,000	3,576	6,424	総会時お茶代等
	交際費	50,000	15,600	34,400	外部との打合せ・渉外等
	地代家賃	1,320,000	1,023,000	297,000	八方尾根開発株R5.4月分～R6.3月分(R4年度においては9か月分)
	水道光熱費	560,000	485,116	74,884	電気・ガス・水道R5.4月～R6.3月(R4年度においては9か月分)
	衛生費	60,000	48,087	11,913	山田商会汲み取り4回
	通信費	600,000	536,021	63,979	NTT電話12か月(R4年度においては9か月分)・KDDI携帯電話12か月・切手・宅急便等
	支払手数料	300,000	266,650	33,350	振込手数料・八十二銀行IB・PC設定・ドメイン使用料等
	消耗品費	200,000	163,333	36,667	事務局員1名増員による事務所内消耗品・備品・名刺等
	事務用品費	100,000	0	100,000	事務所内事務用品(R4年度においては消耗品に含む)
	リース料	600,000	574,874	25,126	事務局員1名増員 PC12か月・固定電話1台12か月・コピー複合機12か月
	新聞図書費	65,000	150	64,850	新規 情報収集のための増額 大糸タイムス・信濃毎日新聞定期購読12か月
	広告宣伝費	20,000	10,626	9,374	講演会・イベント等チラシ印刷
	租税公課	70,000	55,500	14,500	役員登記変更届、契約書等収入印紙
	管理諸費	200,000	185,760	14,240	ネットセキュリティ月額費用12か月・謄本取得
	支払報酬料	1,000,000	727,947	272,053	会計事務所月額顧問料・給与業務委託・社保顧問料・登記変更諸費用等
	予備費		0	0	
管理費合計		49,555,000	41,795,791	7,759,209	
費用合計		65,904,600	59,907,328	5,997,272	
営業利益	-8,607,600	305,512	-8,913,112		
営業外収益		181	-181		
経常利益	-8,607,600	305,693	-8,913,293		
税引前当期純利益	-8,607,600	305,693	-8,913,293		
法人税、住民税及び事業税		42,000	-42,000		前期法人税(今期4月支払済み)
当期純利益	-8,607,600	263,693	-8,871,293		

お問い合わせ先



〒399-9301

長野県北安曇郡白馬村北城5723

一般社団法人 HAKUBAVALLEY TOURISM

Tel 0261-71-1898 Fax 0261-71-1899

www.hakubavalley.com